


さくらんぼ通信

 さくらんぼ保育園 園だより No.271

令和5年8月1日(火)発行
さくらんぼ保育園 園だより
桜が丘東2-2-809
Tel 995-9071
Fax 995-9072

『きゅうりの音』

先日、クラスできゅうりを塩もみして食べました。丸々1本のきゅうりを包丁で輪切りにしようとした時、1人の子が「切る時どんな音がするかな…」と呟きました。その呟きにおもしろいと感じ、まずは音できゅうりを楽しむことにしました。「どうかな、静かにして聞いてみる？」とみんなまで耳を澄ましてみました。包丁で切ってみると「シャキって聞こえた」「ザクってした」などそれぞれ。「じゃあ今度手で折ったらどんな音がするかな」「塩もみした後のきゅうりはどんな音かな」等とどんどん“きゅうりの音”だけでみんなの興味が展開していきます。給食にもよく出てくるきゅうりですが、味や食感を知っていても音はなかなか感じる機会が少なかったように感じ、保育者も一緒になって楽しんだ一コマでした。

今回は1人の呟きから興味が発展していきましたが、日々の生活の中でこどもたちなりの気づきや呟き、“おもしろそう”という興味を保育者が、できるだけ取りこぼさず感じ取り、共感していくことを大切にしていきたいと感じています。

宗國 未紗

今月のBEST SHOT



8月 行事予定

- 12日(土)~15日(火) お盆合同保育
- 17日(木) 避難訓練
- 25日(金) 誕生会
そらキャンプ説明会

9月 行事予定

- 4日(月) そらキャンプごっこ
- 7日(木)~8日(金)
そらキャンプ
- 12日(火) 青パト訪問
- 13日(水) お話会
- 20日(水) 誕生会
- 21日(木) 歯科検診
- 22日(金) 避難訓練
- 25日(月) 内科検診

リズムであそぼう♪

『つばめ』…歌の始まり音で飛び出し、つばめのように軽やかに、素早く走る運動です。両手を斜め後ろにピンと伸ばして、つばめの羽を表現し、身体を前に倒し気味にし、風を切って同方向に回ります。5月の大空を飛んでいるイメージで、広い場所を使って、大きく颯爽と駆け巡ることで、爽快感や気持ちよさを感じてほしいという思いがあります



最初のポーズ、準備 OK!

※そら組くらいになると…「ハイッ」と声をかけると、その場で外回りに大きく回り反対方向に走ります。これを4~5回くり返します。こどもたちはこのような変化を喜びます。

さくらんぼ保育園の1日～夏～

それぞれの時間どのクラスがどこで何をしているのかな？

光ら組



夏ならではのあそびを全身で楽しんでいます。昨年は水が苦手だった子も自分から水に触れることができるようになってきていて、プールあそびでは友だちと一緒に顔つけや水中じゃんけん、宝探し、パタ足などとてもいい表情で楽しんでいます。みんなで力を合わせてプールの中をぐるぐる回ると、大きな洗濯機の渦を作ることだってできるんです。



にじ組

登園し、準備ができたこともから園庭で好きなあそびをしたり、異年齢と一緒に朝のダンスをしています。

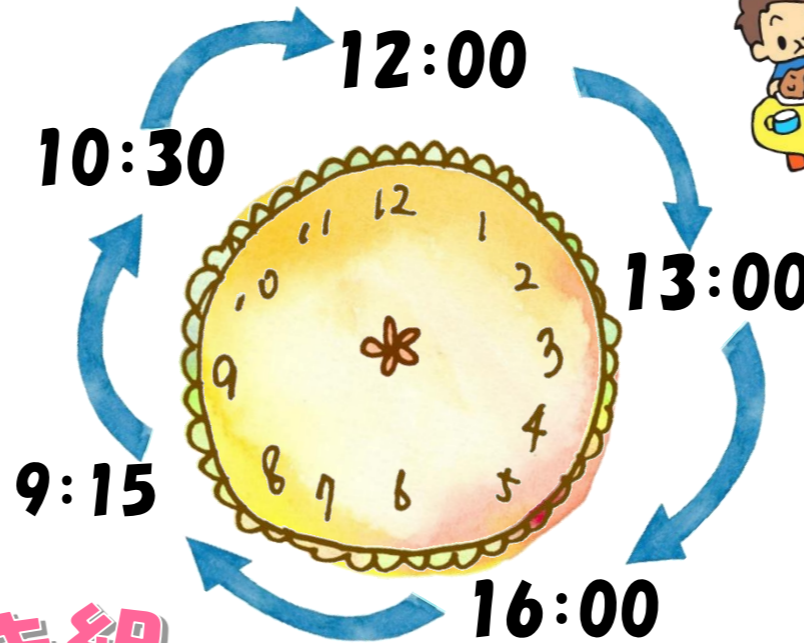
9:20ごろには、部屋に入り午前おやつ(補食)を食べます。朝たくさん身体を動かしていることもあり汗だくです。おやつのは水分補給をするように声をかけています。季節のくだものは子どもたちに大人気。一人で皮をむき、「おいしいね」と友だちと顔を見合っています。レーズンがおやつに出た時に「ぶどうの味がする!」と大発見をしたにじ組です。



ほし組



午前中にしっかり身体を動かした後は、子どもたちも楽しみにしている給食の時間です。その日の給食のメニューを部屋で確認し、食材やメニューに興味をもてるように伝えていきます。伝えた食材が給食の中に入っているのを見つけると「これさっき言ってたやつだ」と確認しながら食べる子どもたちです。だんだんと自分の食べられる量が分かってきており、おかわりの配膳は自分たちでしています。自分があとどのくらい食べられそうか考えたり、友だちもおかわりをすることを考えたりしながら配膳をしています。



はな組

ゆき組



つき組



おやつを食べ終わると、帰りの用意。カバンにコップ袋や帳面などを自分で入れていきます。

時々、友だちの帳面が残っていると「忘れてるよ」と友だちに知らせています。自分のことだけでなく、友だちの持ち物にも関心を持ち、気にかける姿も見られています。

夕方の集まりでは、明日の日にち、曜日、主食弁当があるかどうかを確認すると共に、明日は何をするかなど楽しみをもって次の日に登園できるように話をしています。

日中にしっかり活動し、ごはんを食べた後はお昼寝(午睡)の時間です。子どもたちが快適に眠れるように、温度や湿度、顔が見える明るさなど気にかけています。パジャマに着替え終わると、自分で布団まで行き、寝転がる姿も見られます。自分の布団で安心して一定時間眠ることができるようになりました。

乳幼児突然死症候群(SIDS)の対策として子どもたちに異変がないか、10分おきに確認もしています。